11/29(金)に、照葉積水ハウスアリーナ（福岡市総合体育館）で行われたプロバスケットボールチームライジングゼファーフクオカの試合で、人権啓発活動を実施しました。会場では、様々な人権課題に対する選手のメッセージ付きサイン色紙を展示したり、選手の写真付き人権相談窓口周知カードを配布しました。

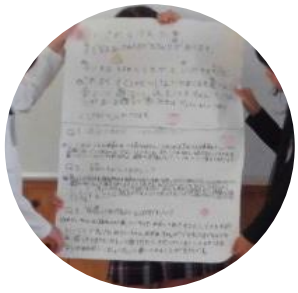
また、人権擁護委員がコート上で、人ＫＥＮまもる君、人ＫＥＮあゆみちゃん、ライジングゼファーフクオカの公式マスコットキャラクター神くんとともに、人権週間と人権擁護委員の周知を行いました。

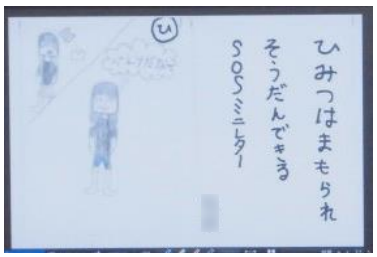
なお、観戦に訪れた人の中には、選手からの人権メッセージ入りサインを熱心に見たり、写真に撮る等している方も多くいました。

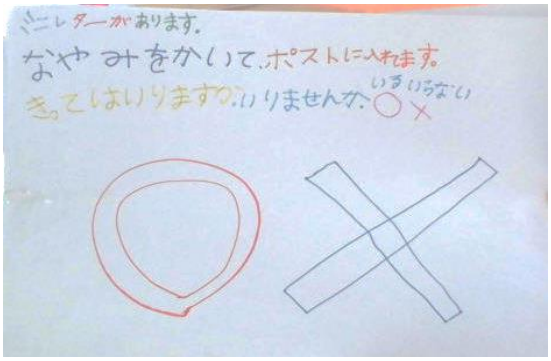
【福岡人権擁護委員協議会】

令和６年７月１０日、志免町立志免中央小学校で、「人権擁護委員について知る」をテーマとした授業がありました。志免町の人権擁護委員が、３年生の児童約１２０人に、人権擁護委員の仕事を紹介すると、児童たちは、「もっと知りたい！」と、たくさん手を挙げて質問していました。

そして、１０月２１日、今度は児童たちが人権擁護委員について調べたことを発表してくれました。人権の花運動やＳＯＳミニレターに関してクイズやポスター、カルタ、紙芝居を作って表現した児童もいました。最後のまとめでは、「みんなの人権と自分の人権を守りたい」と話していました。





【福岡人権擁護委員協議会】

毎年６月１日は「人権擁護委員の日」です。人権擁護委員の日にあわせて、各地で様々な取組を行いました。

福岡法務局の１階ロビーでは、人権擁護委員からのメッセージや実際に活動する人権擁護委員の写真を展示し、法務局を訪れた方々へ人権擁護委員が身近な存在であることをアピールしました。

また、各市町で、特設人権相談所を開設したり、人権擁護委員制度を周知するためのリーフレットを配布するなど、地域住民の皆さんにひとりで悩まず人権擁護委員に気軽に相談するよう声掛けをしました。

【福岡人権擁護委員協議会】

令和６年４月１５日、本年度「人権の花運動」に取り組む志免町立志免中央小学校３年生の児童約１２０人が、ひまわりの種を植えました。児童たちは、種を植えたポットを嬉しそうに持って、「大事に育てる！」と話していました。

種植えの前には、志免町の人権擁護委員が、人権啓発冊子「種をまこう」を朗読し、「人権」という名の種をまき、「思いやり」という名の水と「愛」という名の栄養をたっぷりそそいであげましょう、と児童たちに伝えました。

【福岡人権擁護委員協議会】

令和６年４月２４日、本年度「人権の花運動」に取り組む新宮町立新宮東小学校３年生の児童約１１０人が、新宮町の人権擁護委員と一緒にひまわりの種を植えました。

人権擁護委員からは、「人権とは何か」について児童たちにわかりやすいよう説明があり、「身近な人には相談しづらい悩み事や困り事がある際はいつでも私たちに相談してね」と呼びかけていました。また、児童たちはひまわりにまつわるクイズに楽しそうに参加し、積極的に手を上げて答えていました。

そして、今回参加してくれた人権イメージキャラクター人ＫＥＮまもる君は、児童たちから「かわいい！」と大人気でした。